

東オホーツクシーニックバイウェイ

北海道

地域のねらい

テーマ:ロマンティックヒーリング

風を感じて走る道

・自分たちの暮らしている東オホーツクエリアを日本に残された最後のフロンティア地域と捉え、自由で楽しい東オホーツクライフの確立を目指すと共に、その有様を広く伝えて行く事を目標とする。

活動エリアと地域資源

～活動エリア～

・美幌町から網走方面に向かう国道39号、網走から斜里方面に向かう国道244号、美幌町から小清水町を經由して斜里町ウトロに向かう国道334号、美幌町市街地から美幌峠に向かう国道234号と4本の国道が走っている地域。

～地域資源～

・2005年7月に世界遺産登録となった「知床」をはじめ、自然、歴史、文化、産業など、豊かな景観と資源が豊富。

・これらを活かして、各地域において様々なイベント等が開催されている。

地域の活動推進体制

「ルート運営代表者会議(活動団体47団体)」

「ルート運営行政連絡会議(国土交通省、北海道、関係市町村他)」

「協賛団体(企業等の参加)オブザーバー(有識者、学識者等)」

地域資源、活動内容



オホーツク海(1月)



知床五湖(11月)



国道334号沿道に花を植栽する活動



ビューポイント探しバスツアー



子供フォトハイキング



沿道清掃活動